

令和元年9月3日

保護者の皆様

瑞穂市立中小学校
校長 関谷 典久

「令和元年度 第1回 教育アンケート」集計結果

初秋の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、1学期末に行いました「教育アンケート」へのご協力、ありがとうございました。本校の教育活動や子ども達の姿についてA～Dの4段階評価で回答していただいた結果を今年の1学期の結果と比較しグラフにまとめました。児童のアンケート調査の結果と合わせてご覧いただくとありがたいです。

前年度と比較して、「学校は算数の少人数指導など漢字・計算などの基礎学力を育てている」「学校は地震・台風・不審者・事故などへの対応を進んでいる」がポイントを上げ、過去3年間で一番高いポイントとなりました。また、「校外学習や地域の人とのふれあいなど豊かな体験ができています」も9割の達成率です。「学校は人権を大切にし、いじめのない学級づくりに取り組んでいる」もポイントを維持しています。しかし、「どこの学校にいじめは存在する」ことを肝に銘じて、今後とも「温かい人間関係づくり」に粘り強く取り組んでいきたいと考えます。今後ともご理解、ご協力をお願いします。

ご意見・回答

- 勉強がいやで学校に行きたくないと言いますが、学校生活は楽しいようで、「明日は～の授業で～する。」と嬉しそうに翌日の準備をしています。先生もいつもニコニコ優しく接して下さるので、子どもも「先生大好き!」と言っています。勉強はもちろん大切ですが、友達や先生と楽しく毎日学校生活を過ごせる方が大切だと思うので、日々感謝です。いつも子どもの言葉に耳を傾けてくださりありがとうございます。
- 悪いことはきちんと注意していただき、学校生活の中での子どものよかったこともお知らせ頂いて、とても感謝しています。
- 学校には楽しく通っているみたいです。子どものことで相談した際にも丁寧に対応していただき感謝しています。
- 学校のこと、友達のことをよく話してくれるので、学校が楽しいんだなと思います。学年を問わず仲良くしてくれるので安心しています。
- 子どもどうしが名前を呼ぶときに「さん付け」するのは、いじめのない環境づくりの一つだと思います。些細な事でも何でも問題を共有するという職場の雰囲気づくりはトップのリーダーシップ次第なのだと思います。
- いつも頑張れたことや小さな成長をしっかりと認めて声をかけて下さっているのが、頑張れたという気持ちが大きく、家でもたくさん学校の様子を話してくれます。頑張りたいという気持ちがいつも伝わってくるので、先生方の声かけのおかげでやる気がたくさんわいてくる様子です。
- 子どもからの話や授業参観などで学校の様子が分かり、安心してお願いすることができます。
- 子ども達のことを温かく見守っていただきありがとうございます。これからも子ども達一人一人にあった教育をよろしく願います。
- いつも手厚い指導をしていただき感謝しています。
- いつも子どもや保護者の話に耳を傾けて相談にのってくださる先生。感謝しております。中小学校はアットホームで温かさを感じるあいさつや声かけができる児童が多いと思います。
- 今年に入り「学校に行きたくない」という事を一度も言わなくなりました。担任の先生との程よい距離感や公平・平等な対応で、不満を口にする姿が減りました。ありがとうございます。
- 学校以外で頑張っている子を表彰していただいているのですが、これからも続けて行って欲しいです。
- ▲通学班の班長は「今日の目当ては地域の方にあいさつするです」と言いますが、あいさつはできていません。きっと学校では働きかけはされているのだと思いますが。
- ※子ども達も「中小学校の自慢はあいさつとボランティア」と語っています。学校の中では、本当によいあいさつができる児童がいっぱいです。今年度も、地域からお褒めの電話がかかっています。しかし、かねてから言われているように「地域に帰るとあいさつができない子がいる」というのも課題です。なかなか全員が挨拶ができるように指導することは難しいことですが、MSKや執行委員の子ども達の取り

組みの力も借りながら、中小学校の子も達のあいさつがさらにパワーアップするように指導していきます。地域でも、子ども達から出来ていないと思われる場合には、大人の方からでも挨拶することで、よい習慣が持続できるようにご協力をお願いします。

▲学期末だけでなく細やかな期間での評価があってもよいと思います。「学期が終わって～でした」だけではもったいないと思います。

▲学校のホームページ掲載の写真の一部に、顔がはっきりと分かるものが何枚もありました。子どもの安全を守るためにも配慮していただけるとよいなあと感じます。他校では写真の解像度を下げて個人を特定しにくくする機能があると聞きます。中小学校でも取り入れてもらえたら嬉しいです。

※ご連絡ありがとうございました。基本的には入学時にHP等への写真の掲載の許諾をいただいております。今後も、掲載する写真につきましては、個人が特定されないように十分に配慮しますが、掲載後であってもご心配な写真等がありましたら学校の方にご連絡ください。ご本人の申出があった場合には担当の方で削除させていただきます。

▲毎月のはじめの「家庭学習チェック表」は、うちの子だけかもしれませんが、今のところ効果がないように思います。気分が乗らない時には、とことん時間がかかります。

※家庭での取組は、岐阜県家庭教育学級の条例に基づいて、「各家庭で約束を決めて取り組む」ことをどの学校でも行っています。例えば、ノーテレビ・ノーゲームの取組であったり、家庭でのお手伝いであったり、読書や読み聞かせに関わる取組であったり・・・と各市町や各校で工夫して取り組み、その実践の様子を家庭教育学級委員の会合で交流しています。中小学校では、家庭学習において「毎月各家庭で約束を決めて継続して取り組む」ことを行ってきました。保護者の方にも前向きに子ども達が取り組めるような言葉をチェックカードに書いて頂いた実践の様子を、県の「みんなで子育て」の実践事例で紹介していただいたこともありました。なかなか一朝一夕に成果はあらわれないかもしれませんが、各ご家庭で約束を決めて、それをやりきるといふ営みにこそ値打ちがあります。無理のないプランを親子で立てて、やりきることによって自己肯定感が高められ、更に次の目標に取り組んでいけるようにお声かけをお願いします。

▲家で使用しない教科書などを学校に置いておく「置き勉」を許可していただきたいです。毎日ランドセルが重いと言っています。伸び盛りの体に負担をかけているように思います。ランドセルを背負っての転倒は大げがつながりやすいと思います。

※中小学校でも、昨今の「かばんが重すぎる」問題について考え、学校に書写や道徳、音楽等の教科書や地図帳・資料集等の副教材を置いていくように指導しています。国語や算数に関しては、音読の宿題や時間内でやりきれなかった適用題が宿題となることもあるので、毎日持ち帰っています。年度当初に各学年で学校に「置き勉」をしてよいものについてお知らせしてありますので、担任とご確認ください。また、この件につきましては、今後も検討をしていきたいと思っています。

▲宿題が毎回漢字ドリル・計算ドリルなので、どうなのかなと思ったりはします。きっと個々の問題なのかとは思いますが（うちの子はやりっぱなしで間違えが減らないことが多いので）。とりあえずやって終わればOKなところがあります。自分で「何をどうしたらよくなるのか」を考えて勉強させる自主学習をもう少し増やせるとよいのかなと思ったりします。

▲漢字ドリル・計算ドリルの2回目の締め切りがあまり意味がないような気がします。やっつけ仕事みたいになっているのが気になります。

※国語科や算数科における基礎的・基本的な知識及び技能を習熟させることは大切なことです。しかし、現在のような漢字ドリル・計算ドリルの繰り返し学習が本当に効果があるのかということに関しては、今後考えていかなければならないことだと感じています。今年度は3学期まで漢字ドリル・計算ドリルを使用することになっているのですが、その方法については検討していく必要があります。また、来年度以降は別の補助教材を使用していくのかも含めて、検討をしていきます。

▲不審者情報が中学校よりも一日メールが遅いことがありました。特に不審者情報は早く知らせていただけるといいと思います。

▲先生の大変さも理解しますが、子ども達のことを一番に考えていない事件が多々あり、悲しい気持ちでした。

※ご意見ありがとうございました。不審者情報等のメールにつきましては、巣南中学校区の4つの小中学校や関係諸機関との連携も含めて、速やかな情報提供に努めていきます。また、定期的実施する心のアンケートやいじめアンケート、1学期末に実施した児童アンケートでも、子ども達なりにいろいろと悩むことが多いことも分かり、この夏休み中も担任や生徒指導等の組織で対応してきました。子ども達が楽しく明るく学校へ来ることができるよう、今後も指導の手を緩めずに対応していきます。各ご家庭でも、何かご心配なことがあれば遠慮なく学級担任及び生徒指導担当の方にご連絡ください。